

会 議 の 概 要

会議名	令和５年度 第１回宝塚市食育推進会議
開催日時	令和５年（２０２３年）９月 １２日（火）午後２時～午後３時３０分
開催場所	宝塚市役所４階 ３-３会議室
出席委員	佐々木委員、藤永委員、 安藤委員、細川委員、岡橋委員、岡野委員、 前田委員、 日野尾委員、中西委員、西海委員、伊丹委員、林委員、 今下委員、 朝野委員 （１４名）
欠席委員	松岡委員、八幡委員、酒井委員 （３名）
傍聴者数	なし
公開の可否	公開
１ 開会 ・ 新任委員の紹介 ２ 議題 （１）第３次たからづか食育推進計画について （２）令和５年度 市で取り組む食育に関する事業（計画）について （３）令和５年度 食育の取組について ３ 連絡事項 次回、第２回宝塚市食育推進会議は、令和６年２月～３月頃に開催予定 ４ 閉会	

(1) 第3次たからづか食育推進計画について

(会 長) 第3次たからづか食育推進計画について事務局より説明をお願いします。

(事務局) 説明

<質疑応答>

(会 長) 第3次たからづか食育推進計画の6つの施策、具体的な目標と其中での重点目標等について説明がありました。今の説明に関してご質問ご意見のある方はお願いします。

→質疑事項なし

(2) 令和5年度 市で取り組む食育に関する事業（計画）について

(会 長) (2) 令和5年度 市で取り組む食育に関する事業（計画）について事務局より説明をお願いします。

(事務局) 説明

<質疑応答>

(会 長) 6つの施策の取組についていくつか説明がありました。ご質問ご意見はありませんか。

資料14ページの「お菓子教室」のように、作って試食するという事業はコロナの影響で難しく、どこかがやればやるのだけれどという感じがあると言っていました。大学も今年からコロナ前の状態に戻そうと、オープンキャンパスで取り組んでいます。感染に留意をしながら取り入れていけば良いのかなと思います。皆様いかがでしょうか。

(事務局) 市の委託事業で宝塚いずみ会が今年度12月にお正月料理の調理実習を行う予定です。関係課からどこかが始めて欲しいという意見がありました。

(委 員) 施策1（家庭における食育の推進）、施策2（保育所（園）・学校園における食育の推進）の9ページでもそうですが、赤ちゃん対象や未就園児対象の事業は結構あると思いました。施策2-13の学校給食試食会はコロナの影響で各学校での実施が難しくなっています。3年間実施ができなかったため、約50人を対象に再開するとなっても、5年生の自然学校や6年生の修学旅行でその学年がいない時にしかできないなど制限があり、子どもが通う安倉小学校では、今年は試食会をしないということになりました。コロナが2類から5類になった今年に実施しないとなると来年以降もやらないのではないかと考えています。各学校に任せると良い特色も出るのですが、他の学校でも同じような意見を聞きますので、保護者、個人の意見としては、各学校に任せるのではなく、市として何かしていただけないかなと思います。

(会 長) ありがとうございます。ただいまのご意見に関しまして何かありますか。

(委 員) この会議では、いつもできたものを渡され、修正点や気になる点を聞かれるだけのように思います。この食育推進会議を紹介された時、事業計画へ

のアドバイスや発案のようなことをやるのかと思っていました。事業計画はすでに決まっており、それに「ハイ」という返事だけで、皆様が目指す地域に根差すものになっているのかなと思います。

アンケート調査の現状値（％）が全然上がらないのであれば、これまでの事業の反省点を踏まえどのように改善しなければならないのか、現状値（％）が上がるような新たな案をもらう会議でもいいのかなと思いました。今まで通りの事業案では現状値（％）は上がらないのではないかな。

各委員（団体）にもそれなりの考えがあると思います。事業計画で決まったものだけではなく、この会議で2〜3個ぐらい提案した取組をやってみましょう、というのもあっていいのかなと思いました。

次世代につなげるために、学校が一番アプローチしやすいのであれば、市だけでなく教育委員会がこの会議に入っていないことは不思議だなと思いました。教育委員会も会議に入り、これは取り組めるか、取り組めないかというようなことがあっていいのかなと思いました。

このような話をするだけならば、オンラインや、書面アンケートでこの事業案はどうですか？「ハイ いいです。」で終われそうな気がしました。せっかく集まるのであれば、もう少しプラスになるようなことをすると面白いのかなと思いました。

（会 長）ありがとうございます。それでは、これを見てどこかアドバイスはありますか？

（委 員）すでに決まっていることですし、前に話した時からそれほど変化もないです。料理作りなどをやっていこうということも素晴らしいですし、コロナで中止となっていた事業が復活してきたことは良い兆しなのかなと思いました。ただ同じようなことをしていて数値が下がったのであれば、同じ内容で良いのか？次に何をしなければいけないのか、という反省点をここで言う場であっていいのかなと思います。

健康推進課だけでは思いつかない発想を各団体の代表者が集まって、皆さんこれをどう思いますか？と言いつく場でもいいのかなと思います。そのような意見をまとめる会議のほうが、面白いのかなと思います。

（会 長）ありがとうございました。この後の議題で、各団体の取組みも紹介がありますのでよろしくお願いいたします。
他にご意見はありますか。

（委 員）市の取り組む事業ですので、予算はどれくらいの費用で考えているのか知りたいのです。

（事務局）ご意見ありがとうございます。食育に関係する事業は、食育だけを提案しているのではなく、他の観点も含めて取り組んでいますので、食育の事業費という形だけでは計上できていません。委員の皆様から、食育に関してどれくらいの事業費をかけて宝塚市は頑張ろうとしているのかというご意見をいただくことは、確かにそうだなと前々から思う事がありました。庁内の検討会がありますので事業費を出すとするばどのようによいかな庁内で検討させていただきます。

(委員) トータルでどのくらいかという事と、事業数が多いので、どのぐらいをあてがっているのか雑駁でいいので分かりますと様子が見えます。人数はある程度掲載されているのですが、明確ではない気がします。

(会長) ありがとうございます。他にご意見ご質問ございますでしょうか。

(委員) 4ページの施策1-17 食育ののぼり・横断幕による啓発について、6月に逆瀬川の駅前でのぼりや横断幕を設置し食育の啓発をしている様子を見かけました。逆瀬川駅を通らない方もおられますので、のぼりや横断幕を使用していない時期には、スーパーなど食事に関係する場所に設置をするとフードロスであるとか、啓発につながるのかなと思いました。せっかくたくさん作っているのであれば、見ていただく機会が多くあってもいいのかなと思いました。

(会長) 貴重な意見をありがとうございます。確かに頻繁に目にふれるということは、食育の啓発にもなりますので、今後検討していきたいと思います。ほかにご意見はありますか。次の議題にしていきたいと思います。

(3) 令和5年度 食育の取組について

(事務局) 説明

<質疑応答>

(会長) 7月1日に実施した食育推進研修会、情報交換会に出席いただいた団体の方にも計画の目標に掲げている項目等の啓発をお願いしていましたが、皆様の活動の中で無理なく実施できる取組など少しご紹介いただきたいと思います。

まず甲子園大学の取組みを紹介させていただきます。(カラー両面リーフレット参照) 甲子園大学の栄養学部栄養学科は管理栄養士の養成施設ですが、さらに食育を学びたい学生には食育実践コースがあります。そのコースの学生が初めて防災食育動画ということで、食物アレルギー対応のパッククッキング(ポリ袋キッチン)の動画を作ってYouTubeにあげました。ちょうど1ヶ月くらいになりますが、初めて作ったのでYouTubeを見ただけでは分からないところがあり、それを補足する為にこのチラシを作りました。二次元コードをつけておりますので、お時間のある時で結構ですので、動画をご覧いただければと思います。レシピも載せています。ぜひご覧いただければと思います。右側の二次元コードからは、アンケートの協力をお願いしています。7月1日に情報交換会に出席しておりました野間教授がこのコースの責任者になっておりますので、ぜひ皆様によりしくお伝えくださいということで、この資料を預かってまいりました。

裏面には「食事バランスの手」という事で、このコースの生徒が他の幼稚園に行き、食育活動をする時にこういった物を使いダンスをしながら面白おかしく食育をしています。これは初めての試みだったのですが、今後は第二弾も企画しているようです。

今日は授業のために松岡委員は欠席しておりますが、大学に小さな畑が

あり、松岡委員を中心にいろいろな作物を育てています。この食育実践コースで学生達は指導を受けながら実際に作物を作り収穫をして、それを使った食物アレルギー対応のレシピを今後考えていきたいと言っておりまして。

他にも、市内小学校の給食の時間に流していただけるボイスレターを月に数回届けたり、神戸市内の公立の幼稚園に食育のDVDを届けているなど、定期的に学生中心に食育活動を行っています。

学生は若い感覚や情報発信力があります。私達教員にはないものをもっておりますので、そういうものを十分にいかしてもらいながら食育活動と一緒にやっております。

またこれを見ていただきましてご意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。甲子園大学の取組は以上となります。

では他の団体さんにお伺いしたいのですが、生活協同組合コープこうべの前田委員お願いいたします。

- (委員) 第3次食育推進計画の6つの施策に沿ってご紹介したいと思います。施策1家庭の取組で、コープこうべでは、皆様にフレイル予防を知っていただく、2年前から宝塚栄養士会に監修いただき、「こんなものをしっかり食べていきましょう」という取組をしています。2年前は5人に1人しかフレイル予防を知らなかったのですが、昨年の調査では3人に1人が知っているという事で、少しずつフレイル予防の知識が広がっているかなと思います。「この商品にはタンパク質が何グラム含有しています」というゴンドラを用意すると、その中の商品がどんどん無くなっているようですので、今後もそのような取組を続けていきたいと思います。施策2保育所(園)・学校園の取組(子ども)では、先日まで夏休みがありましたので、家庭で小学生の子どもが簡単にできるような料理教室をプログラムとして設けています。レンジでお好み焼きができるとか、パタパタおにぎらず、お弁当を作ろうなどを、コープこうべの職員がするのではなく、地域から募ったクッキングサポーターという地域の組合員さんに講師になっていただき夏休みに実施しました。施策3地域の取組・食文化を継承する取組という事では、宝塚市には西谷という自然溢れる山地があります。尼崎市のNPOで環境オープンカレッジさんから故郷の無い子どもたちに故郷を味わわせたいという相談がありましたので、西谷の田んぼを借りて、尼崎市の子ども達50人に田植えや草引き、今度9月23日は稲刈り、収穫を行い、11月には収穫したお米を西谷でみんなで食べようという取組みもしています。施策4事業者の取組としては、宝塚市の店舗では「西谷の野菜を目立つ所に置きましょう」と、各6店舗の店長をお願いをし、地産地消を強めています。施策5安全・安心な食への取組では、アレルギーの問題が増えてますので、今流行っている、防災のポリ袋クッキングとアレルギーに対応した食事作りをセットにした取組みをさせていただいています。施策6環境を意識した食生活では、『手前取り』という取組で昨年流行語大賞を受賞しました。「この商品は手前から取ってください」というエシカルマークをポップのような感じで作り強調しながら、活動をさせていただいています。

- (会 長) ありがとうございます。6つの施策に対して非常に取り組みやすい内容のものを紹介していただきました。フレイル予防に関して2年前と1年前ではかなり認識が上がったというのは素晴らしいと思います。
それでは宝塚栄養士会の細川委員をお願いします。
- (委 員) 栄養士会ではまだ調理実習は再開できていませんが、これからご依頼があれば再開していけたらと思っています。
現在、年末にNPO法人消費者協会宝塚からご依頼をいただき、コロナ以降初めて調理実習をさせていただくことになっています。
他にはフレイル予防も講演依頼がありましたら講演させていただきます。秋にはクレリという葬祭業者さんの会員を対象の講演会を依頼されています。今後も依頼があれば、出ていきたいと思っておりますので、ご依頼のほどよろしくをお願いします。
- (会 長) ありがとうございました。続きまして宝塚いずみ会の岡橋委員お願い致します。
- (委 員) いずみ会というのは、食生活改善推進員という全国組織の協議会になっています。これまでに長尾南幼稚園や丸橋幼稚園で、ジャガイモでカレーライスを作ったり、さつまいもを掘ってさつまいものお菓子を作ったり、その時にはマジックボックスで子ども達に3色の栄養バランスの説明をしていましたが、長尾南幼稚園が廃園になってしまい、そのような事ができていません。今は高齢者を中心とした男性の料理に力を入れ、自分で買い物へ行き料理をするという事を行っています。月に一回ですが、4ヶ所でさせていただいています。参加者の奥様には喜ばれています。現在、7月と12月にはフレイル予防の講演をお願いされまして、プレミラで行うようになっていきます。12月5日に公民館でお正月料理をさせていただくことになりました。よろしくお願いいたします。
- (会 長) ご紹介いただきましてありがとうございました。男性の調理実習は1回の教室に何人ぐらいいますか？
- (事務局) 人数は色々ですが、合計で約40名です。8人のところもあれば20人のところもあり、平均すると10人ぐらいで行っています。当番制で買い物もしています。レシピを渡すのですが材料が無い時はそれをどう変えていくかということも自分たちで考えてもらっています。洗い物まで全て行ってもらっています。
- (会 長) 他に何かこういう取り組みしていますという方はいますか。そうしましたら、感想でも結構ですので、今回新しく委員になられました委員さんはいかがでしょう。
- (委 員) 個々の活動を頑張っておられる楽しいお話も聞け、良い会議だなと思いました。先ほどの補足ですが、予算がある程度わかると様子が見えると思います。また、中止や拡大・縮小といろいろな欄があり、数が60、関わる課も19とかなり多いなと思います。啓蒙ですのでいろいろな課がかかわっていれば良いというお考えだと思うのですが、少し変わっていこ

うとするのであれば、コーディネートを行って、同じような趣旨のものはひとくくりにして連携をするような形をとっていくとか、中止にしまうのはおしいので中止にならないように、どこかと連動させて行っていくなど、もう一つ進んだ配慮があればいいと思いました。ただたくさん集めてするというよりも、市で工夫して、イニシアティブを示されたほうが前に進んでいくのかと思います。毎年同じ事の繰り返しをされていて何もかも繰り返しだなと思います。

(委 員) 私は小学校6年生と幼稚園児の息子2人を育てています。8月に北海道で熱中症などの痛ましい事故もありましたので、2学期から運動会の練習が始まり、早寝早起き朝ごはん、1日3食食べさせています。イヤイヤ期の幼稚園児にも、一口でもご飯を食べなさいと言っています。水分補給が大事なので、水筒と帽子だけは絶対持って行くように言っています。

今はいろいろなバックボーンがあり、朝ごはんを食べていないことが普通だったりしますが、それではいけないことと思います。当たり前のことが当たり前に出来る環境が私の幼少期の頃とは違うのかなと感じるようになりました。

前回、研修会に行かせていただいた後、(所属団体の)理事会でお話させてもらい、3食食べるように理事会のメンバーだけでも徹底しましょうとか、小さいレベルではあるのですが、家庭から派生して当たり前のことは当たり前にできるようにしています。

(会 長) ありがとうございます。では他にご意見はありますか。

(委 員) 今年の農業は水不足や日照りでの苦労があったと思います。どのような様子が聞いてみたいです。

(委 員) 気温が高かったので昼間は仕事をせず、朝と夜、夕方にかけて仕事をするというかたちでした。毎年ですが、作物自体は全体的に前倒しになっているイメージで、これから少しずつ四季の作物の時期がずれてくるのかなという印象です。地球の温度の関係が3年後か5年後か分かりませんが、今の状況であれば早まってくるのかなと思いました。夏場にできる作物が少なくなってくるのかなという印象があります。

(会 長) ありがとうございます。他にご意見はありますか。

(委 員) 弁当の日というのがあり、それを宝塚市で広げたくて、13年前から啓蒙している先生のセミナーを受けて真似させてもらい、資料を集めて自分で講演もしました。働きかけが大人になっていますが、市からの声掛けで教育委員会などと一緒に、子ども達と朝ごはんを作るなどの事業をやってもらいたいと思います。これはここでしかできないと思っています。ずっと思っていたのですが、宝塚市民は何十万人いると思うのですが、ここでの事業は100人、200人単位です。次世代へバトンをつなぐのであれば、一番溶け込みやすい小学生や中学生から行わなければならないと思います。アンケート調査による中学3年の現状値などは、ありえない低い数字だと思います。それを変えるためには、そこからアプローチ

をしていく必要があると思います。そのためには、ここにはいない教育委員会や校長先生にアプローチをして変えていく必要があると思います。その話を個人的に僕の恩師でもある宝塚第一中学校や高司中学校の校長先生にお話ししたところ、管理栄養士の人数などの兼ね合いで難しいが、でもやりたいという話を言われていました。

やはり教えるためには人が足りないようです。それを事業化するのであれば、市からアプローチをして、市の事業予算を減らして人件費に充て、週1回でもよいので夏休みに子どもが朝ごはんを作る事を宿題のようにすれば、食事の習慣化になると思う。

親ができない家庭で子どもがやらなかったら、子どもは将来もやらないです。

実際そのような取組みを長崎や九州、四国、川西市でも行っています。私はそのような事を行いたくて、この食育会議委員に推薦されましたが、そのような話をする場合は、1年半ぐらいありませんでした。

これまでは計画を考える会議でしたので、そのような話をする場はありませんでしたが、今は個々に取り組む話の場になっています。

もしよければ、社会に出た大人や保護者や個人向けの話になっていますが、宝塚市が取り組むのであれば、必ず全員が参加する授業などで取り組んでもらえればよいと思います。小学校の管理栄養士が少ないのであれば、宝塚栄養士会に調理実習を依頼して、それを確認して学校が宿題を出し、撮影した写真を皆で見せ合えば、子どもは嬉しいと思う。会話も生まれる。火の扱いも覚える。将来自炊をする子どもになると思います。

このような案を言える場があれば僕は嬉しかったのですが、そのような場ではなかったので唐突に言わせてももらいました。

少し考えていただきたいと思いました。

私は大人への食育というものをよくわかっていません。体育と道德と食育は子どもを育むためものだと思っていますので、アプローチを子どもの成長や発達に盛り込んだ方がよいと思います。

先ほどの熱中症の話も、朝食にパンではなくご飯と味噌汁（水分・塩分補給）を食べていれば、熱中症予防になったのではないのでしょうか。食べないよりはパンでも食べた方がよいですが、パンよりもご飯の方がよい、そのような当たり前の事を発信できる場になれば僕は嬉しいです。そのような取組にプラスして大人への啓蒙があればとよいと思います。この食育推進会議でしかできない事業を100人200人ではなく万単位でできればと思います。

そうすれば達成率も変わると思います。

- (会 長) 甲子園大学の食育コースの学生が小学校に出かけて行って食べるということの啓発は行っているのですが、今の話は大学に持ち帰らせて頂こうと思いました。
小学生でも作れる物を学生に考えてもらう提案をしてみたいと思います。

- (委 員) 子どもは褒めたらやる気になります。一年前に弁当の日というものを、宝塚市が関わってくれなかったので、光明小学校にいる子どもが小学校5年生の時に20～30人集めて、一人500円持ち込んで、自分たちで(弁当)料理を作る。金額だけは大人が決めたのですが、買い出し、料理実習、洗いものまで子ども達で、賛同人が見守る中行いました。子ども達の可能性は無限大なので、褒めたら次もしたくなるので、興味関心があれば何でもできると思います。食べる物の栄養ではなく、食べるための事とか、食べた後の事とかそのような家族の会話も増えると思います。
- (会 長) ありがとうございます。
- (事務局) 来年度は食育関係団体の研修会を年に1～2回行いたいと思います。その際にそのような取組ができないか、他にも何かできないか、検討しながら進めていければいいなと思います。その際にはよろしく願います。
- (会 長) ありがとうございました。本日はいろいろな関係団体の取組みや考えなど、いろいろなご意見等をいただきありがとうございました。それぞれの得意な部分を最大限に活かしていただき、コロナ前よりも積極的に食育活動ができればと思います。またこの会議で作り上げた第3次たからづか食育推進計画ですので、ぜひ今後の啓発にもご協力を頂き推進していければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
本日の会議の議事録は事務局と調整して私が確認させて頂きたいと思っています。
- (事務局) 次回会議の予定は来年の2月3月頃予定しております。